平成20年11月2日

平成20年度（第14回）剣道功労賞受賞者

谷 鏖 吉 郎 （たに りょうきちろう） （愛知県出身）

（愛知県 大正9年10月4日生 88歳） 剣道範士八段
元愛知県剣道連盟会長 元全剣連 常任理事・審議員
平成15年勲五等瑞宝章 受賞

東京高等師範学校卒業後、海軍兵学校剣道教官、戦後は愛知県警察（剣道教師）、中部管区警察学校で剣道専門の指導者として多くの剣士を育て、自らも剣士として各種大会に出場するほか、また、中部大学剣道師範としても学生の指導に当たっている。

愛知県剣道連盟では、理事長・会長（平成12年～17年）・相談役を歴任し、特に愛知県剣道連盟の財団法人化、国体の運営、全国レベル大会・審査会の主管開催に尽力した。

全剣連においては、平成3・4年常任理事、平成5～10年審議員を務め永年に亘り剣道の普及・発展に貢献した。

中 島 義 孝 （なかじま よしたか） （群馬県出身）

（群馬県 大正11年1月2日生 86歳） 剣道範士八段
群馬県剣道連盟 会長 元全剣連 理事

国士館専門学校卒業後、学校教諭を経て、会社を設立。

昭和40年に錬心館中島道場を開設し館長となり、40年以上の長きに渡り、小・中学生を主体に剣道を指導した。また、この間自らも剣士として多くの大会に出場している。

昭和50年より群馬県剣道連盟の副理事長・副会長、平成7年から会長となり、群馬県の剣道普及・発展に尽力している。また、群馬県剣道道場連盟の会長を昭和60年より務め、本年からは全日本剣道道場連盟の副会長に就任するなど、剣道指導を通じ多くの優秀な剣士を育てた。

剣道一筋の人生であり、永年に亘り剣道の普及・発展に貢献した。

以上2名